

令和7年度 第7回石狩市浜益区地域協議会議事録

【日 時】 令和7年11月26日（水）18：00～19：30

【場 所】 浜益支所 2階庁議室

【資 料】

- 1) 会議次第
- 2) 石狩市過疎地域持続的発展市町村計画の策定に係る答申について
- 3) 令和8年度地域振興事業及び予算要求について
- 4) 石狩庁舎以北の代替交通について（厚田花川線）
- 5) 令和7年度地域振興事業の実績について
- 6) 浜益地域ビジョン案について
- 7) きらりウィークについて

【出席者】 7名（11名中）

役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠
委員	渡邊 隆之	○	委員	坂本 賢哉	○	委員	久慈 麻結	
委員	木村 武彦		委員	笹森 仁美	○			
委員	青山 侑太		委員	徳地 克実	○			
委員	鳴海 翔		委員	細田 幸男	○			
委員	佐藤 晃一	○	委員	鬼塚 建次	○			

（本 庁） 大川課長、上原主査、平野主任（企画課）

佐々木課長、吉田主査、氏家主任（企画課企画課交通担当）

（支 所） 宇野支所長、木澤市民福祉課長（併 浜益学校教育課長、浜益社会教育課長）

高田保健福祉担当課長（兼 はまます保育園長、診療所庶務課長）

（事務局） 柿崎課長、佐藤主査、小貫主査

【傍聴者】 1名

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 協議事項
 - ・ 石狩市過疎地域持続的発展市町村計画の策定に係る答申（案）について
 - ・ 令和8年度地域振興事業及び予算要求について
- 3 報告事項
 - ・ 石狩庁舎以北の代替交通について（厚田花川線）
 - ・ 令和7年度地域振興事業の実績について
 - ・ 浜益地域ビジョン案について
 - ・ きらりウィークについて
- 4 その他
- 5 次回の開催日程について
- 6 閉 会

1 開 会

【事務局】

本日は、お忙しい中お集まり頂き、誠にありがとうございます。ただ今から、令和7年度第7回浜益区地域協議会を開会いたします。はじめに、会長からご挨拶申し上げます。

【渡邊会長】

—挨拶—

【事務局】

渡邊会長、ありがとうございました。本日の会議は出席委員が11名中7人と過半数に達していますので、成立していることをご報告いたします。それではこの後の進行を、渡邊会長よりお願いいたします。

2 協議事項

・石狩市過疎地域持続的発展市町村計画の策定に係る答申について

【渡邊会長】

それでは、協議事項に入ります。「石狩市過疎地域持続的発展市町村計画の策定に係る審議の答申」について説明をお願いします。

【事務局】

前回の地域協議会及び先日行った勉強会の際にいただいた意見を踏まえて、事務局にて案を作成し、事前にお送りしておりました。いただいたキーワードは「気候変動への対応」「新しい一次産業の担い手を増やす方策」「人材育成」「子どもの居場所の確保」「地域の情報発信サポート」の5つでした。それを踏まえ、答申案をご説明します。「1 担い手不足の解消について」、キーワードのうち、「新しい一次産業の担い手を増やす方策」「人材育成」に加え、「地域の情報発信サポート」の要素を入れています。情報発信を支える人材の確保、育成も実施していったと考えています。「2 地域を支える産業の振興について」、キーワードのうち、「気候変動への対応」のほか、徳地委員が仰っていた、「漁師さんを海の専門家」として海に関わるあらゆることを産業として行く取り組みのような、今までとは違う新たな一次産業の形の検討や、農業への鳥獣被害など、過疎地域の産業を守るための仕組みについて盛り込みました。「3 浜益区における子どもの居場所づくりについて」、キーワードのうち、「子どもの居場所の確保」について盛り込みました。勉強会でもお話のあった、「子どもたちへの学びの機会の提供」についても盛り込んでおります。「4 安心安全な生活環境について」、こちらには気候変動に加え、今年多発したヒグマの出没への対応策などを地域住民と共に情報を共有しながら対策を検討していくことについて盛り込みました。答申案の説明については以上となります。ご意見等ございましたらよろしくお願いいたします。

【渡邊会長】

以上説明がありましたが、何か質問等ございませんか。

—なし—

【渡邊会長】

それでは石狩市過疎地域持続的発展市町村計画について答申いたします。令和7年10月27日付け石企画第169号で諮問のありました標記の件について、石狩市、厚田郡厚田村及び浜益郡浜益村の廃置分合に伴う地域自治区及び地域自治区の区長の設置に関する協議書第8条の規定に基づき審議した結果、妥当であると認め、ここに答申します。なお、石狩市過疎地域持続的発展市町村計画がより地域の持続的発展に資するものとなるよう次のとおり意見を付します。「1 担い手不足の解消について」、地域のあらゆる場面での担い手不足の対応策として、移住・定住の促進及び二地域居住や関係人口の創出・拡大について検討すること。また、人材育成の機会の創出、地域住民同士や関係人口との共助の仕組みづくりを検討すること。「2 地域を支える産業の振興について」、気候変動、有害鳥獣による農業・漁業への影響に対応する施策の実施と、鳥獣被害を減少させるため、有害鳥獣の捕獲や農地への侵入防止等の被害防止対策、捕獲鳥獣の処理加工施設の整備など、地域特性を生かした仕組みづくりの拡充を図ること。「3 浜益区における子どもの居場所づくりについて」、集落が点在する浜益の地域特性にあわせて、「子どもの居場所」づくりについて検討、推進すること。また、地域の子どもたちに対して学びの機会を与える事業について検討すること。「4 安心・安全な生活環境について」、多発する自然災害への防災・減災対策の拡充を図るとともに増加するヒグマ出没に対する総合的な対策について検討すること。以上です。

【大川課長】

答申ありがとうございます。いただいた意見について計画に反映するとともに、意見を踏まえた計画の実施に努めてまいります。

・令和8年度地域振興事業及び予算要求について

【渡邊会長】

では、協議事項の2件目、令和8年度地域振興事業及び予算要求について事務局より説明をお願いします。

【事務局】

事前にお配りしておりました資料の「令和8年度予算要求（浜益支所地域振興課）」という資料をご覧ください。まず地域自治区振興事業ですが、こちら継続1件「水産物等普及プロジェクト」として、1,880,000円を計上しております。こちらは今年度と同様となっております。令和8年度実施後、令和9年度以降の事業について再検討していく予定であることをお聞きしております。以降の事業は基金事業ではないので承認等の手続きは不要ですが、支所の要求としてご報告いたします。まずは地域おこし協力隊です。今年度から任用している2名に加え、新規2名で合わせて2,200,000円を要求しています。ミッションとしましては、以前皆様にご検討いただいた、今後のまちづくりを担う人ということで募集いたします。続きまして、浜益区集落支援員活動事業についてです。こちらも継続2名の分を計上しております。最後に新規事業で「いっぺかだれや推進事業」についてです。いよいよ来年3月地域自治区が廃止になるにあたり、一段ギアを上げて、今後のまちづくりを進めていく必要があります。「共助による支えあいの地域モデルの構築」に向けて、先進地視察、地域コーディネーター養成講座の実施、いっぺかだれやの会の継続に関わる講師報酬、消耗品、食糧費など195万円を見込んでおります。財源としましては、「地域創生に向けてがんばる地域応援事業」助成金の申請をします。こちら150万円上限で補助率100%の事業ですが、なかなか採択が難しいので、不採択となった場合は北海道市町村振興協会のいきいきふるさと推進事業（宝くじ収益金）の申請をいたします。こちらは上限100万円のうえ、補助率50%のため、当初予算を削って要求いたします。なお、現在予算要求している最中ですが、財政課からは計上前から一律4%のカットが通達されており、新規事業の計上も厳しい状況ですが、なんとか助成金が採択されるよう努めてまいります。

【渡邊会長】

ただいま説明のありました事項について、意見や質問等ありますか。

【徳地委員】

地域おこし協力隊の募集の経費については別にありますか。

【事務局】

募集に関する経費については、別の事業「地域おこし協力隊募集事業費」として計上されております。インターン等に関する費用はこちらから支出しております。

【徳地委員】

毎年、2月に協力隊研修生（インターン）を実施していますが、冬に実施しても活動内容があまりないように思いますが、この時期に実施するのはなぜでしょうか。

【事務局】

浜益区では毎年9月頃の秋におためし地域おこし協力隊を実施し、2泊3日で活動体験をしていただいています。インターンについては、浜益の冬を経験していただくために2月に設定しています。協力隊として活動してもらうためにミスマッチを防ぐため、厳しい冬の暮らしを体験してもらっています。令和8年度については、徳地委員の意見も踏まえ、検討していきたいと思っております。

【渡邊会長】

ほかに意見がなければ、次に進みます。

3 報告事項

・石狩庁舎以北の代替交通について

【渡邊会長】

では、次に報告事項に入ります。まずは1点目、「石狩庁舎以北の代替交通について」企画課交通担当より報告をお願いします。

【佐々木課長】

私から石狩庁舎以北の代替交通（厚田花川線）についてご説明いたします。本資料は、9月25日に開催いたしました本協議会で使用した資料のうち、厚田花川線に係る部分と、地域報告会の中で追加した資料がございますので、それを追加した形になっております。追加した部分を中心にご説明いたします。資料2ページをご覧ください。10月7日から22日まで厚田地区・花畔地区・右岸地区・浜益地区への代替交通修正案に関する報告会を開催し、改めて地域の方々からご質問ご意見頂戴してまいりました。資料は、7月の説明会時と同様にカテゴリーごとに分けて作成しております。乗継については、庁舎前での中央バスとの乗り継ぎに関して、特に冬期間に乗り遅れ等出た際の対応についてのご質問がございました。中央バス社としては基本的に定時に出発するとの見解を前回の分科会で

頂いていたところですが、代替交通側としては、中央バス側の到着が遅延した場合どれくらいまで待つかについて交通事業者様と協議していきたくと考えております。予約については、予約の締め切り時間についてのご質問及び予約できる方の対象範囲についてのご質問などを頂いております。締め切り時間について、現在稼働している市内デマンドは1時間前、通勤デマンドは10分前、浜益デマンドは20分前とそれぞれの事業の特性に応じて設定しております。なお先週開催いたしました分科会の場において、厚田線については基本1時間前、本町線については30分前が妥当ではないかとのご意見頂いておりますことから、この案をベースに路線の特性に応じて調整して参りたいと考えております。日祝日については、引き続き日曜日の運行についてのご要望を頂いておりますが、代替交通として対応することは難しいため、別の手法を含めて引き続き検討する旨お答えしております。なお、分科会の場において、ライフサポートの会から日曜日の運行についてご検討頂く旨のお話を頂いておりますことから、同会とその可能性について引き続き協議して参りたいと考えております。また、今回の代替交通以外の手段で日・祝日の運行を考える場合、タクシー助成券の支給や公共ライドシェアの導入など他地域で行っている事例があることから、その可能性についても検討を進めて参ります。時刻・ダイヤについては、運行案では対応できていない時間帯での要望を頂いておりますが、本件については、継続して協議していく形でお答えしております。また、中央バスとの乗り継ぎのためにももう少し出発を早くして欲しいとのご要望につきましては、ダイヤ全体の影響を加味しながら検討していきたくと考えております。路線については、ましけ号の停留所設置の件についてお問い合わせ頂いております。こちらにつきましては、現在沿岸バス社と増毛町との間で協議を進めており、今後協定を締結してましけ号の運行を確保するとともに、新たな停車場所についての協議を取りまとめていきます。料金については、割引制度に関するご質問・ご要望を頂いております。その中でも通学割引に対する年齢区分について、現行は高校生を想定しておりますが、大学生・専門学校生までを対象として欲しいというご要望を頂いております。分科会の場において、学生という区分での割引に対応するのであれば、事前に申請して頂く形での運用フローを検討した方がよいのではとのご意見頂きましたので、この案をベースに調整して参りたいと考えております。資料には掲載しておりませんが、その他に、1点目スーツケースなど大きな荷物をもって乗車は可能かという件につきましては、基本的には抱えられる大きさの荷物で対応をお願いします。2点目です。遅延証明書は発行するのかという件につきましては、紙ベースの遅延証明書を事務局にて用意し当日に遅延時間をドライバーが記してお渡しいたします。最後になります。盲導犬の乗車は可能かという件につきましては、乗車は可能で乗車料金は無料ではありますが、予約時にスペースを確保する観点から1名分の予約が必要となります。資料5ページをご覧ください。石狩庁舎前のバス停の位置図になっております。本エリアは、中央バス様のバス停が点在しており、乗換に移動が発生し高齢者等に障がいが生じるとのご意見頂いております。当面は当初通り市役所正面玄関前で車をし、市役所に待合スペースを設けるなどの対応を考えておりますが、利用者の方の声を聴きながら、庁舎前の駐車場の在り方について検討してまいります。資料9ページをご覧ください。今回の代替交通につきましては、予約制の形をとらせていただくことになっております。予約の仕方については、お家の電話、或いは携帯電話から予約センターにご連絡いただき予約する方法と携帯電話にウェブアプリを登録してアプリから予約して頂く方法の2種類を想定しております。いずれの手法につきましても初回時に名前・生年月日等の登録作業がありますが、2回目以降については、スムーズに予約できるフローとなっております。なお、代替交通利用にあたって、予約方法や乗車方法など基本的な事項につきましては、運行開始前のタイミングで地域の方にお時間を頂き、体験会を開催したく思っております。本町線については、本町地区・ヤウスバ地区で12月8日と9日に開催します。厚田線については来年3月に右岸地区・厚田地区・浜益地区で開催予定です。以上です。

【渡邊会長】

ただいま説明のありました事項について、意見や質問等ありますか。

【徳地委員】

来年度からの浜益デマンドフィーダー線は新厚商事が担っていただけるのでしょうか。

【佐々木課長】

来年度からは東急ビルマネジメントが運行するのは難しいとのことで、厚田花川線との一体的な運行ができないかと新厚商事と調整中です。決まり次第、皆さまにはご報告いたします。

【徳地委員】

運行事業者が違っても予約は1回で大丈夫ですか。

【佐々木課長】

運行事業者が違っていても、予約は1本で済むよう、システムを構築中です。

【渡邊会長】

3月に体験会を実施するとのことですが、内容を教えてください。

【佐々木課長】

浜益区では新たなバスの予約方法などがわからない人を対象に体験会を実施します。予約方法を体験していただいたり、動画などを見ていただき、運賃の支払い方法なども確認していただきます。体験会については自治会とも調整して実施いたします。

【渡邊会長】

ほかに意見がなければ、次に進みます。

・ **令和7年度地域振興事業の実績について**

【渡邊会長】

では報告事項の2件目、「令和7年度地域自治区振興事業の実績について」報告をお願いします。

【事務局】

続きまして、7年度実績についてご説明いたします。地域自治区振興事業については、3年度ごとに成果の報告及び継続の妥当性についてご検討いただくなくてはならないことから、お配りした資料によりご説明いたします。まず区民カレンダー製作事業について、今年度作成（令和8年度版）については事業費額を767,250円と見込んでおります。うち350,000円を補助金として計上しております。昨年度は決算額で768,130円となっております。こちらにつきましては、今年度作成分もって満了とし、令和8年度作成分（令和9年度版）からは1冊1,000円での販売と広告収入で継続していく予定でおります。次に水産物等普及プロジェクトについて、こちらは平成27年度からの継続事業となっております。漁師の皆さんが地域の方のためにと実施されている事業です。令和7年度分については、前年同様、1,880,000円を補助金として支出する予定です。令和5年度から3年分の総括としましては、コロナ明けということもあり、当初の賑わいが戻ってきたように感じています。新たな浜益の夏の風物詩として、すっかり定着した事業となっています。先ほど令和8年度予算の部分でお話した通り、令和8年度はこれまで通りということで漁協青年部よりお話をいただいています。継続の可否についてご判断くださいますようお願いいたします。

【渡邊会長】

ただいま説明のありました事項について、意見や質問等ありますか。浜益地域づくり基金の残りが少なくなってきたので、令和8年度より区民カレンダーは基金を使わずに有料化して実施していくことですが、浜益区コミュニティ普及推進事業実行委員会ではどのような議論になっていますか。

【事務局】

地域協議会での区民カレンダーの有料化の意見を踏まえて、基金を使わずに1部1,000円程度で販売することになりました。今後、印刷製本費の単価が高くなることも予想され、紙質を変える、レイアウトを変更してページ数を減らすなどの対応で、継続して発行できるようにしていきたいと思えます。また、広告協賛をしていただける事業者も新たに探します。

【徳地委員】

徳地酒店も新たに広告を出す予定です。

【事務局】

ありがとうございます。区民カレンダーの有料化については令和9年4月発行分からとなりますが、来年度の早い段階で区民にお知らせをし、自治会にも販売部数を集約、集金していただくなどの協力をお願いすることになるかと思えます。ご協力よろしくお願いいたします。

【渡邊会長】

では、地域自治区振興事業の総括として、区民カレンダー製作事業については、令和8年度版の発行分をもって基金の使用は満了とし、水産物等普及プロジェクトについては、事業の成果の通り、継続が妥当と認められるということで決定いたします。では次に進みます。

・ **浜益地域ビジョン案について**

【渡邊会長】

では報告事項の3件目、「浜益地域ビジョン案」について報告をお願いします。

【事務局】

次にご説明するきらりウィークとも絡んでくるのですが、今後のまちづくりを進めるうえで、「きらり」の役割が重要となってくると考えています。その前に、まずは浜益の新しいまちづくりを進めるうえで、地域の皆さん、行政、関係人口として関わる人たちが共通して持てる「まちのビジョン」を作りたいと考えました。本来であれば、一から地域の皆さんと作るべきと思うのですが、時間もなく、なかなか難しい部分もあり、お配りしたような素案を作らせていただきました。これは、まずは行政内部でもまちづくりについて意見の共有が必要と思い、今まで3回ほど、支所の管理職と徳地さんとエゾロックさんでワークショップを行ってきました。それをもとに作成したものです。もちろん

これで完成ではありません。地域協議会の委員の皆様からも、きらりウィークでも、次のいっぺかだれやの会でもご意見をいただき、今年度中に完成できたらと考えています。いっぺかだれやの会で作成した「いっぺかだれや憲章」を基礎に、きらりを拠点に、地域の皆さんが「かだれる」まちづくりを進めていきたいと考えています。先ほどの予算要求のところでもお話しましたが、そのための講座などを開催したいと考えています。地域の人プラス、担い手としてまちに関わってくれる「担い手人口」を増やしていきたいと考えています。今日この場だけでなく、次回以降の協議会、その他さまざまな場面でご意見いただけたらと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

【渡邊会長】

カダレレーターというのは具体的にどのような役割ですか。

【事務局】

いっぺかだれやの会ではNPO法人きたのわさんにファシリテーターをお願いしています。対話を進めていく上でとても重要な役割ですので、当初は区民向けのファシリテーター養成講座を考えておりましたが、ファシリテーターのみならず、浜益全体についてコーディネートできる人材を増やしたいという思いから、浜益のことを改めて学んだり、ファシリテーションも学べるコーディネーター養成講座を複数回実施したいと考えています。そのコーディネーターを、浜益では「いっぺかだれや」にかけまして、「カダレレーター」と呼んでいきたいと考えています。

【徳地委員】

カダレレーターはただ単にコーディネートするだけでなく、ジェネレーターのように自ら動いてくれる人を養成することを目指しています。

【渡邊会長】

浜益は人口が少なくなり、区外の人にも助けていただかなければならないが、区民も何もできないと言わずに、自分たちでできることをやっていこう、そういう共助のしくみづくりをするということですね。

【事務局】

はい、そうです。もう一つの「一人一看板講座」についても、皆さんが何かできること、得意なことを「看板」として掲げて地域で活動していただけたらと思っています。そんな難しく考えず、例えば「草刈りできます」「こうれんの作り方教えます」「さつまいも栽培のコツ教えます」など、皆さんが持つスキルを持ち寄って、交流や、お困りごと解決にもつなげていけたらと考えています。

【宇野支所長】

いっぺかだれやの会の活動をとおして、共助のしくみの輪をもっと広げていこうということです。行政主導ではなく、市民主体の活動を行政が支援していきますので、委員のみなさま、ご協力よろしくをお願いいたします。

【鬼塚委員】

1点質問です。このビジョンの中の目指すまちの姿に、「歴史や自然が育んだ循環型の暮らしを大切にすまち」とありますが、循環型の暮らしとはなんのでしょうか。小中学校の子どもたちが取り組むことができるのでしょうか。

【事務局】

浜益は昔、陸の孤島だったこともあり、地域の中で暮らしが完結し、また、さまざまな問題を解決してきた歴史があります。例えば災害の時には、すでに備えがあったり、地域で声をかけあったりと、そういう仕組みや風土を大事にしていきたいという意味だったのですが、分かりづらいかもかもしれません。もう少しわかりやすくしたいと思います。

【鬼塚委員】

子ども達が歴史や自然を学習している「ふるさと教育」に通じるものがあるので、取り組んでいきたいと思います。

【渡邊会長】

ほかに意見がなければ、次に進みます。

・きらりウィークについて

【渡邊会長】

では報告事項の4件目、「きらりウィーク」について報告をお願いします。

【事務局】

お手元に配布しているチラシを、今月末の全戸配布で配ります。12月9日から12月15日までの一週間行います。この中で、いろいろと地域の人のご意見を伺う時間を設けたいと考えています。数年後のきらりがこのようになったらいいなという企画を持ち寄ります。日用品の販売があったり、お茶が飲めるコーナーがあったり、ヨガや陣屋研究会の講座もありますので、みなさまもお時間ありま

したらお越しください。

【徳地委員】

日用品販売「キラスク」を実施します。八田商店がなくなった時に調査した区民アンケートの結果をもとに、販売品を選びました。きらりウィークで買い物していただき、そのデータを取りたいと思います。玄関ホールで販売しますので、よろしくお願いいたします。

【事務局】

先ほどのビジョンに基づき、きらりを核として実践するのが、この「きらりウィーク」になります。私も抹茶を点てる時間を設けます。これまでいっぺかだれやの会には参加しづらかった区民もいるかと思うので、この機会にお越しいただいた中から、ご意見を聞き取っていただけたらと考えております。

【渡邊会長】

ほかに意見がなければ、次に進みます。

4 その他

・その他

【渡邊会長】

それでは次に、「その他」です。委員の皆さんから何かございますか。

【細田委員】

12月4日に浜益中学校の総合学習発表会を開催いたします。1年生はりんご学習で収穫したりんごを使ったアップルパイを作って配ります。13時40分よりきらりで実施しますので、ぜひお越しください。

【鬼塚委員】

11月29日に閉校記念式典を開催いたします。式典の前後で、建物内を見ていただく時間を取りますので、思い出にひたっていただければと思います。よろしくお願いいたします。

5 次回の開催日程について

【渡邊会長】

それでは最後に次回の開催日程について、事務局からお願いします。

【事務局】

次回の地域協議会は、12月17日水曜日開催したいと思います。新たな地域協議会の委員構成等について検討を始めていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

6 閉 会

【渡邊会長】

それでは、以上を持ちまして第7回地域協議会を閉会いたします。お疲れ様でした。

令和8年1月8日 議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 渡邊 隆之